

リモコンドアロック RDL275Ⅲ

取付/取扱説明書

Remocon Door Lock

付属の保証書に必要な事項をすべてご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。
保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。
※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります。
※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。
※保証規定は保証書を参照してください。
※保証書は如何なる理由があっても再発行致しません。あらかじめご了承ください。

本製品に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

ご相談窓口

お電話 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
086-486-0442 【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

メールでのお問い合わせ(PC) <https://www.datasystem.co.jp/support/mail/>

メールでのお問い合わせ(スマートフォン)
<https://www.datasystem.co.jp/sp/support/>

Data System 株式会社 データシステム
■ [本 社] 東京都新宿区新宿 1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田 1-1-11
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転写・転載を禁じます。 RDL275Ⅲ・190808-AKN

仕様

送信部

名称・規格	微弱無線機
送信周波数	315MHz
変調方式	OOK変調
空中線電力	微弱無線規格内 (3m点で電界強度500μV/m以下)
電 源	DC3V (CR2025×1)
重 量	約24g
動作温度範囲	-10℃～+50℃
寸 法	H69×W31×D13(mm)

受信部

電波形式	OOK変調
受信方式	シングルスーパーヘテロダイン方式
受信周波数	315MHz
電 源	12V (10V～16V)
消費電流	25mA以下(待機時)
重 量	約82g
寸 法	H28×W84×D67.4(mm)

※本製品は RDL275Ⅲ専用リモコン RDL015 (別売)のみ使用できます。

パーツリスト (作業前にご確認ください)

- 受信機 1個
- 接続ハーネス A
- リモコン 1個
- タイプC取付ハーネス (黒赤・茶・白 各1本)
- ドアロックモーター用ハーネス (青・緑 各1本)
- メインハーネス
- サブハーネス
- リモコン用電池 1個 (CR2025)
- オスギボシ 4個
- オスギボシスリーブ 4個
- 両面テープ 1枚
- エレクトロタップ 4個
- 本取扱説明書
- ユーザー保証登録カード / 保証書

オプション (別売品)

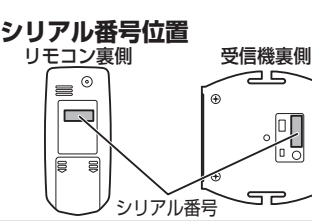
- 必要に応じて別途お買い求めください
- ドアロックモーター RDL021 (2本配線タイプ)
 - ドアロックモーター RDL022 (5本配線タイプ 集中ドアロック化用)
 - 追加リモコン RDL015
※追加は2個(合計3個)まで

追加リモコンを購入する際のご注意

リモコン購入時、製品名とシリアル番号が必要です。購入前にご確認ください。

【製品名】
RDL275Ⅲ

【シリアル番号】
リモコンまたは受信機のどちらか
※すでに追加リモコンをご使用中の場合、リモコンと受信機でシリアル番号が異なりますが、どちらのシリアル番号でも問題ありません。



取り付け上の注意

⚠️このような車両には取り付けできません

- 純正キーレスエントリー装着車への取り付けはできません。
- ワイヤー式ドアロック機構車両の場合、別売ドアロックモーターの取り付けが困難または取り付けできない場合があります。
- 側面スライドドア及び背面ハッチドアに別売ドアロックモーターの取り付けはできません。
- ロック時は全てのドアがロックし、アンロック時は運転席側以外のドアがアンロックされない車種がありますが、これはその車種の構造であり、取り付けはできません。
- 本製品は国産12V車専用です。24V車、外車への取り付けはできません。

⚠️受信機取り付け時の注意

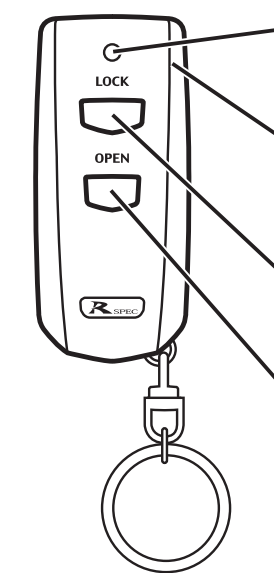
- 取り付け作業前に必ずバッテリーマイナス端子を外してください。なお、バッテリーマイナス端子を外すとラジオや時計などのメモリー内容が消えてしまう場合があります。作業前にメモをとり、取り付け作業終了後、再度登録してください。
- 取り付け作業終了後、バッテリーマイナス端子接続時にドアがロックされる場合がありますので、取り付け作業中は窓ガラスを全開にしてください。
- 12V常時電源はドアロックモーターを動作させる為、容量の大きいところ(バッテリーの+端子またはキーシリンダーコネクターなど15A以上)にテスターで確認の上、確実に接続してください。
- ボディーアースは必ずテスターで確認の上確実に接続してください。ボディーアース不良は動作不良や本製品損傷の原因となります。
- 受信機は付属の両面テープを使用して邪魔にならない場所、必ず水がかからない場所に設置してください。
- 電子機器の近くには設置しないでください。
- 使用しない配線は、先端をビニールテープなどでテーピングしてください。
- アンテナ線が金属に触れないように設置してください。またアンテナの延長、短縮などを行った場合、受信感度が悪化しますので絶対に改造はおこなわないでください。
- 取り付けには専門知識が必要です。必ず専門の取付業者が取り付けをおこなってください。間違った取り付けは車両や製品の故障の原因となります。
- 本体に貼付されている封印シールをはがさないでください。はがすと保証期間に関わらず、保証対象外となります。

⚠️ドアロックモーター取り付け時の注意

- 設置方法については、ドアロックモーターに付属している取扱説明書をご参照ください。
- 必ずドアロック機構のリンク部分に潤滑剤を予め塗布の上、ドアロックノブが滑らかに動き、負荷がかかっていないことを確認してからドアロックモーターの取り付けをおこなってください。
- ドアロックモーターが、窓ガラスなどに干渉しドア内に収まらない場合、本製品は取り付け不可能ですのでご了承ください。
- 別途延長配線・エレクトロタップなどが必要になる場合があります。

リモコンについて (ご使用方法)

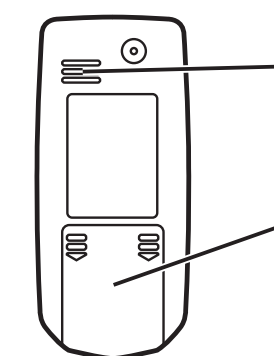
リモコン表側



- インジケーター
ロックスイッチ / オープンスイッチを押すと点灯します。
- ブザー (内蔵)
ロック時は1回、アンロック時は2回ブザーが鳴ります。
- ロックスイッチ
押すことによりロック動作をおこないます。
- オープンスイッチ
押すことによりアンロック動作をおこないます。

連続してスイッチ操作をおこなう場合は、必ず1秒以上間隔を空けてください

リモコン裏側

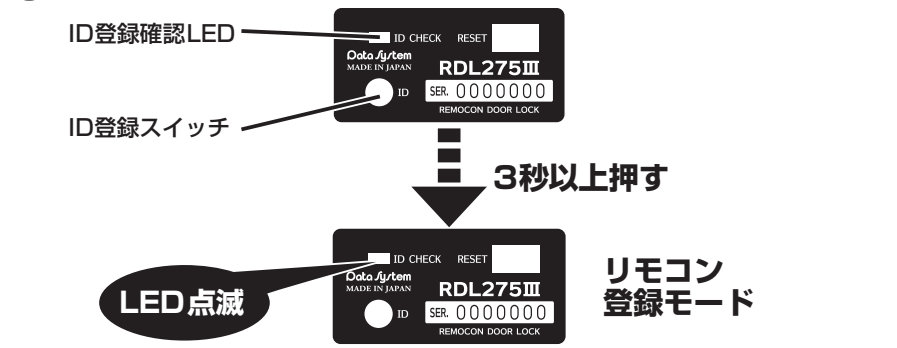


- ブザー (内蔵)
ロック時は1回、アンロック時は2回ブザーが鳴ります。
- 電池
フタを開けてボタン電池 (CR2025) を入れます。

⚠️注意 工場出荷時はリモコン登録されていません。必ず下記「リモコン登録方法」をご参照の上、リモコンを登録してからご使用ください。

リモコン登録方法

- 1 イグニッションスイッチをOFFにします。
- 2 車両に取り付けた受信機のID登録スイッチを3秒以上押し、ID登録確認LEDが点滅し、リモコン登録モードになります。



ID登録確認LED

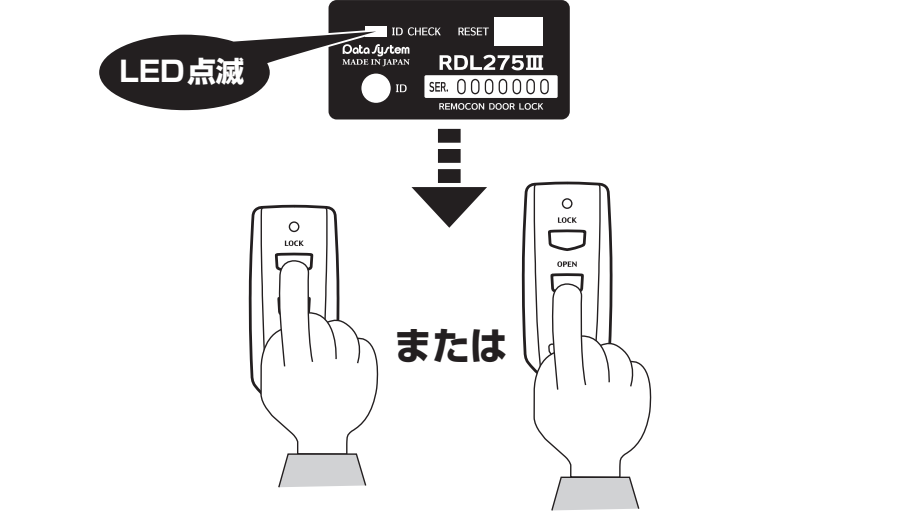
ID登録スイッチ

3秒以上押し

LED点滅

リモコン登録モード

- 3 登録確認LED点滅中に、登録したいリモコンのロックスイッチまたはオープンスイッチを1秒以上押し、そのリモコン固有のIDコードが受信機に登録されます。



LED点滅

または

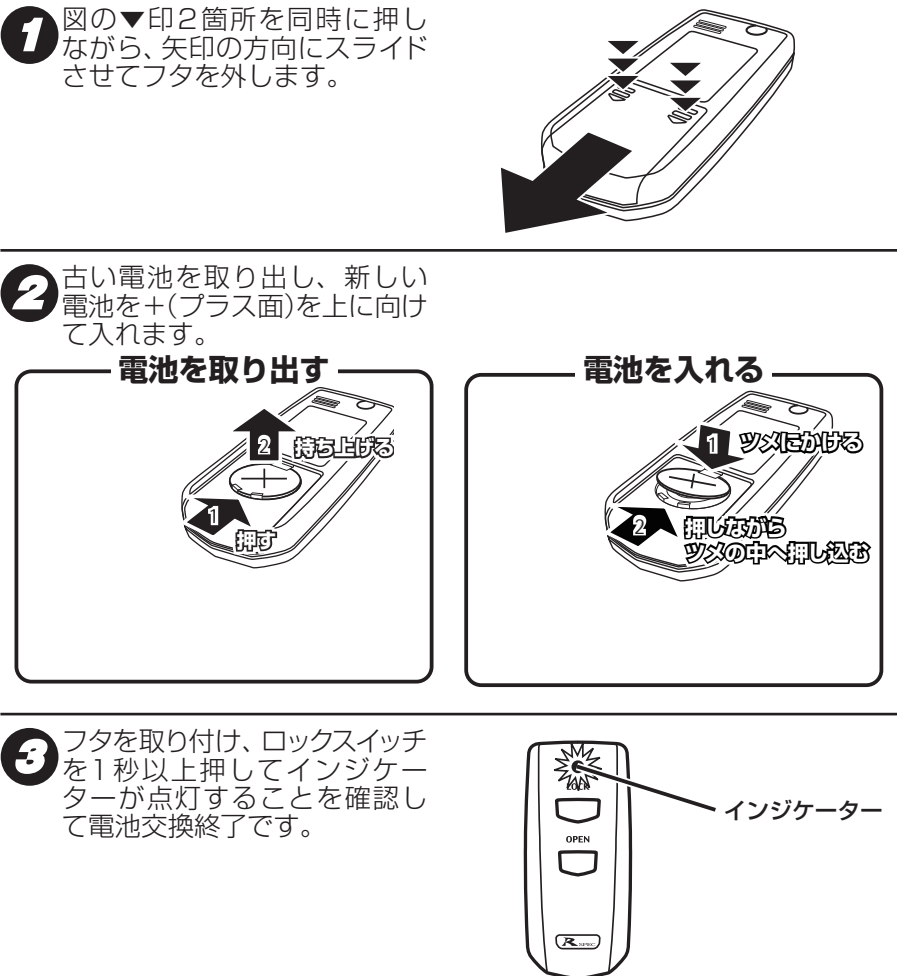
リモコンの電池交換方法

使用電池：CR2025 (1個)

送信距離が短くなってきたら電池交換の時期です。電池寿命の目安は1日4回の使用で約1年です。

工場出荷時、電池はリモコン本体に入っていません。使用する前に同梱の電池を入れてください。

- 1 図の▼印2箇所を同時に押しながら、矢印の方向にスライドさせてフタを外します。
- 2 古い電池を取り出し、新しい電池を+(プラス面)を上に向けて入れます。
- 3 フタを取り付け、ロックスイッチを1秒以上押しインジケーターが点灯することを確認して電池交換終了です。



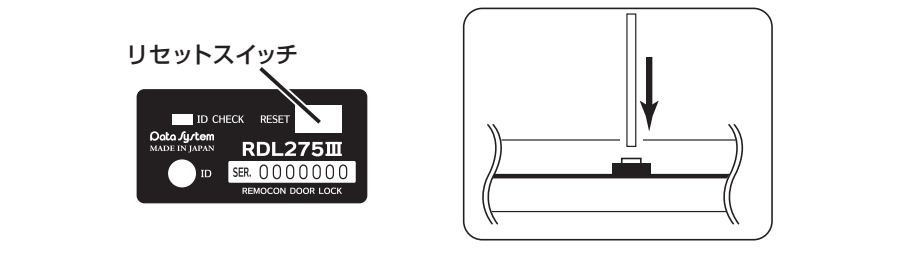
ご使用上の注意

- リモコンを落下させたり強い衝撃を与えたりしないでください。リモコンの故障・破損の原因となります。
- リモコンを車内ダッシュボードなど高温になる場所には放置しないでください。リモコンの変形や故障・電池の異常消耗などの原因となります。
- リモコンは防水加工されていませんので、水にぬらしたり湿度の高い場所に放置したりしないでください。リモコンの故障の原因となります。
- リモコンのボタンは必要以上に強く押さないでください。強く押しすぎるとリモコン内部が破損する恐れがあります。
- リモコンのLEDが暗くなったり点灯しなくなったりした場合は電池交換の時期です。速やかに電池交換をおこなってください。
- 車両のバッテリーが上がってしまった場合、本製品は動作しません。
- リモコンのボタン操作を連続でおこなう場合は必ず1秒以上間を空けてください。間を空けないとリモコンが反応しない場合があります。
- リモコンの電波到達距離は周囲の状況や受信機の設置場所により多少変わります。特にドアロック操作時は確実にドアロックされたことを確認してから車から離れてください。
- 受信機1台につきリモコンの追加は2台(合計3台)までです。
- 受信機のアンテナ線を短くしたり延長したりしないでください。受信感度悪化の原因となります。

リセットスイッチについて

万が一、予期せぬ動作をおこなった場合など、リセットスイッチを押すことにより受信機をリセットすることができますので、必要な場合のみ押しってください。なお、IDコードはリセットされませんが、リセットスイッチを押した後にリモコンを再登録する必要はありません。

※リセットスイッチを押す際は、必ずつまようじなどの金属以外の材質のものを使用し、本製品に対して垂直に差し込んでください。



リセットスイッチ

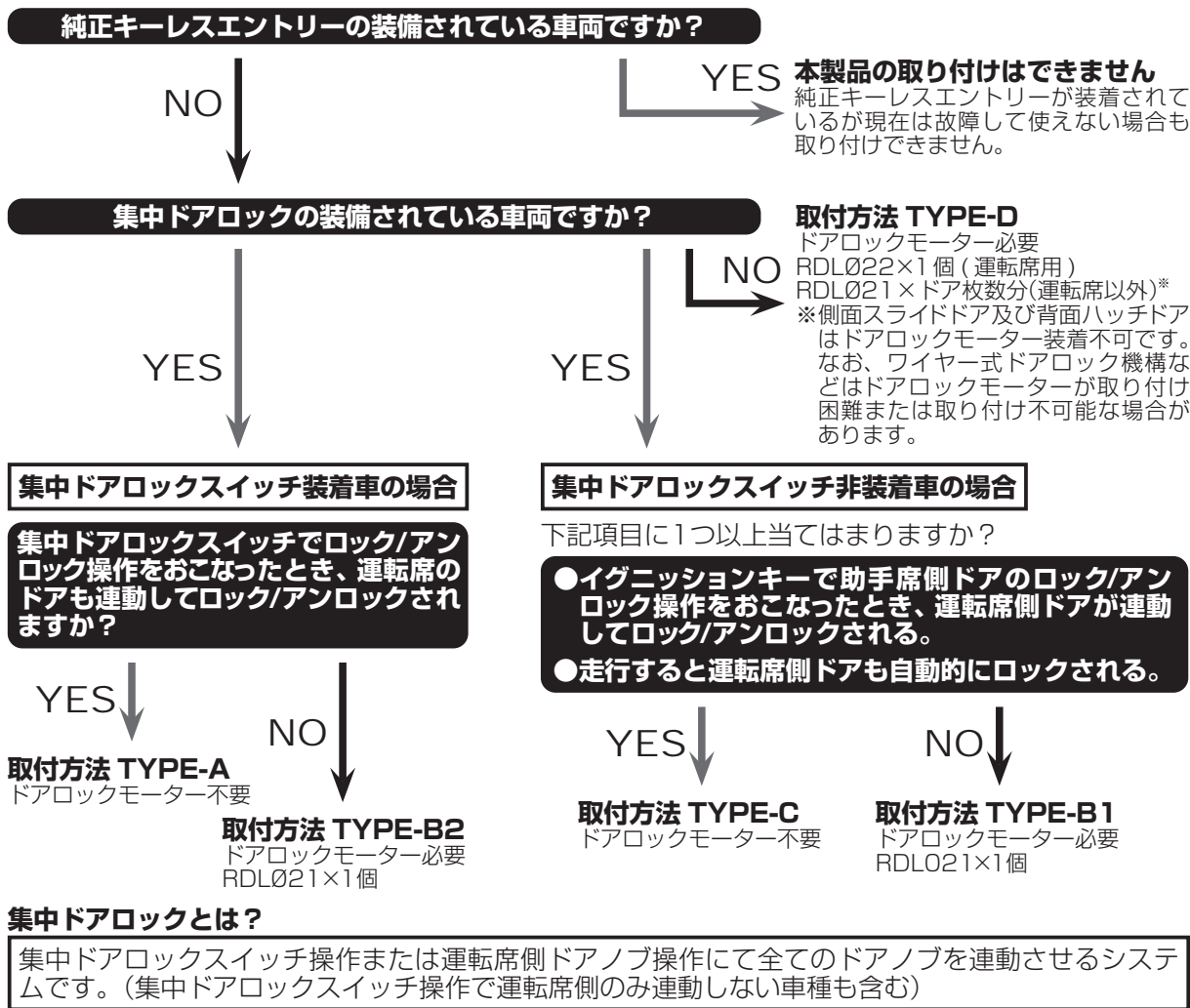
⚠️リモコン登録上の注意

- ID登録スイッチを押す際は、必ずつまようじなどの金属以外の材質のものを使用し、本製品に対して垂直に差し込んでください。
- ID登録スイッチを押してから何もせずに1分以上経過すると、自動的にリモコン登録モードが終了します。この場合は前回のIDコードがそのまま残ります。
- ID登録スイッチを押してからリモコン登録をせずにID登録スイッチを再び押し、リモコン登録モードを終了させた場合、前回のIDコードがそのまま残ります。
- 1台目のリモコンを登録してから2台目のリモコン登録をせずにそのまま1分以上経過すると、自動的にリモコン登録モードが終了します。この場合は1台目のリモコンのみ登録されます。
- 複数のリモコンを使用する際は、必ず全てのリモコンを同時に登録してください。リモコン登録を行なうと、過去に登録したIDコードは消去されます。
※RDL275Ⅲ専用リモコン(オプションRDL015含む)のみ登録可能です。他のリモコンは登録・使用できません。

取付タイプフローチャート

●別売ドアロックモーター必要 / 不要判別及びドアロック機構判別フローチャート

- ・本製品を装着する際、車両の構造により別売ドアロックモーターが必要になる場合があります。下記フローチャートにてご確認ください。
- ・国産車のドアロック機構は5タイプあります。下記フローチャートにてタイプを確認してから取付作業をおこなってください。



タイプ別適応条件

TYPE-A

- 「TYPE-A 取付方法」の図内の構造を持つ集中ドアロックスイッチが装着されている(マイナス制御)。
- すべてのドアにドアロックモーターが装着されている。
- ドアロックリレーが装着されている(マイナス制御)。

TYPE-B1

- 集中ドアロックスイッチが装着されていない。
- 運転席側ドアノブの操作で他のドアノブが連動する。
- 運転席以外のドアにドアロックモーターが装着されている。
- 運転席側ドアにドアロックモーターが装着されていない。

TYPE-B2

- 集中ドアロックスイッチが装着されている。
- 集中ドアロックスイッチを操作しても、運転席のドアノブのみロック/アンロックされない。
- 運転席側ドアノブの操作で他のドアノブが連動しない。
- 運転席以外のドアにドアロックモーターが装着されている。
- 運転席側ドアにドアロックモーターが装着されていない。

TYPE-C

- 「TYPE-C 取付方法」の図内の構造を持つ集中ドアロックスイッチまたはドアロックリレーが装着されている。
- 全てのドアにドアロックモーターが装着されている。

TYPE-D

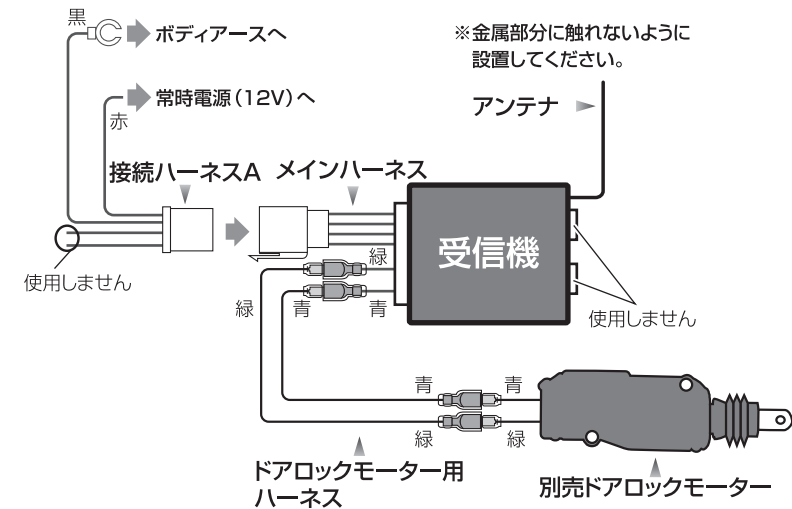
- 全てのドアノブを手動で操作する車種。

TYPE-B1 取付方法

(別売ドアロックモーター RDL021×1個必要です)

集中ドアロック車で運転席側にドアロックモーターを装着する方法

取付概要図



注意

- 使用しない線は必ずビニールテープなどで、線の先端部分をテーピングしてください。
- オスギボシ
- メスギボシ

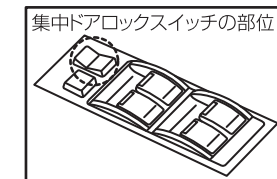
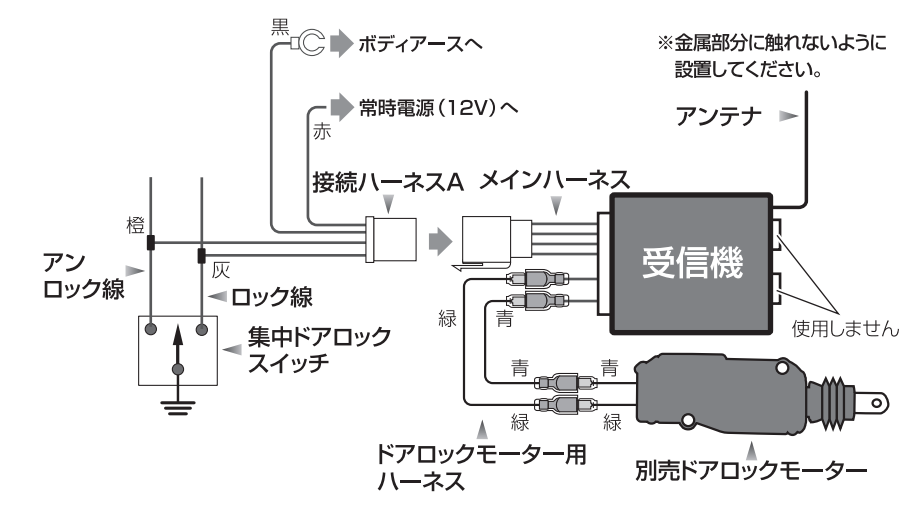
- 1 バッテリーマイナス端子を外します。
- 2 上記「取付概要図」をご参照の上、接続をおこなってください。
- 3 バッテリーマイナス端子を接続します。
- 4 リモコンでドアがロック / アンロックされることを確認して取り付け終了です。
※リモコン操作と逆の動作をする場合、受信機の青線をドアロックモーターの緑線に、受信機の緑線をドアロックモーターの青線にそれぞれ差し替えてください。

TYPE-B2 取付方法

(別売ドアロックモーター RDL021×1個必要です)

集中ドアロック車で運転席側にドアロックモーターを装着し、ドアロックスイッチに配線する方法

取付概要図

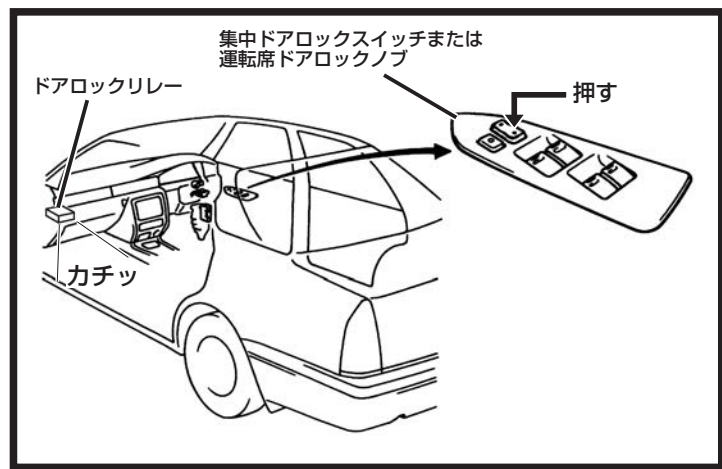


注意

- 使用しない線は必ずビニールテープなどで、線の先端部分をテーピングしてください。
- エレクトロタップ
- オスギボシ
- メスギボシ

- 1 集中ドアロックスイッチから出ている配線の中で通常時約12V、集中ドアロックスイッチでロック操作したときに約12Vから0Vに変化する(GNDになる)線をロック線とします。
- 2 集中ドアロックスイッチから出ている配線の中で通常時約12V、集中ドアロックスイッチでアンロック操作したときに約12Vから0Vに変化する(GNDになる)線をアンロック線とします。
- 3 バッテリーマイナス端子を外し、上記「取付概要図」をご参照の上、接続をおこなってください。接続完了後、再度バッテリーマイナス端子を接続します。
- 4 リモコンでドアがロック / アンロックされることを確認して取り付け終了です。
※リモコン操作と逆の動作をする場合、受信機の青線をドアロックモーターの緑線に、受信機の緑線をドアロックモーターの青線にそれぞれ差し替えてください。

ドアロックリレーを探す方法

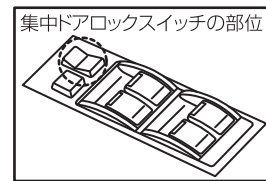
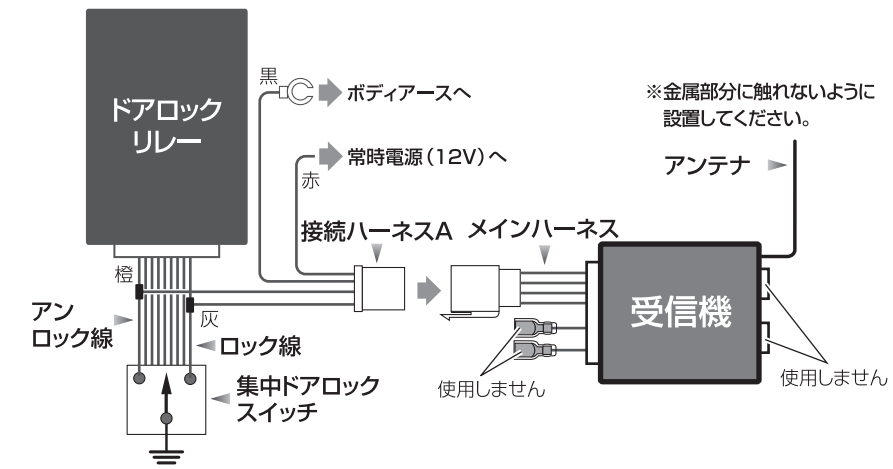


上図のようにドアロック/アンロックスイッチを操作したときに、「カチッ」と音がするリレーが**ドアロックリレー**です。

TYPE-A 取付方法

ドアロックリレーもしくは集中ドアロックスイッチ(キースイッチ)のマイナス制御の線に配線する方法

取付概要図



注意

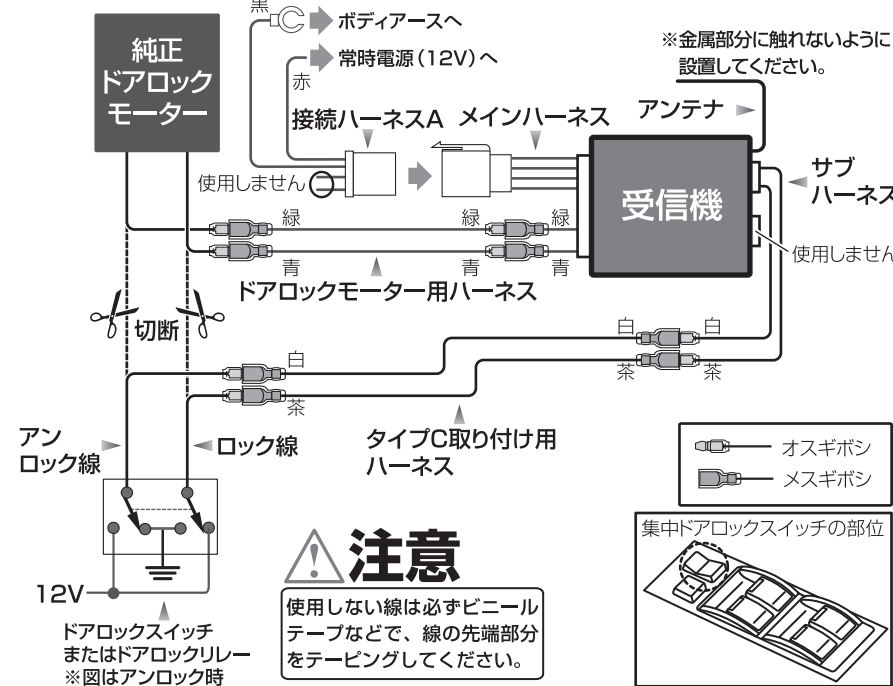
- 使用しない線は必ずビニールテープなどで、線の先端部分をテーピングしてください。
- エレクトロタップ
- オスギボシ
- メスギボシ

- 1 左記「ドアロックリレーを探す方法」をご参照の上、ドアロックリレーを探します。
- 2 集中ドアロックスイッチから出ている配線の中で通常時約12V、集中ドアロックスイッチまたはキーでロック操作したときに約12Vから0Vに変化する(GNDになる)線をロック線とします。
※ロック線は集中ドアロックスイッチ以外にドアロックリレー・キースイッチから探すことも可能です。
- 3 集中ドアロックスイッチから出ている配線の中で通常時約12V、集中ドアロックスイッチまたはキーでアンロック操作したときに約12Vから0Vに変化する(GNDになる)線をアンロック線とします。
※アンロック線は集中ドアロックスイッチ以外にドアロックリレー・キースイッチから探すことも可能です。
- 4 バッテリーマイナス端子を外し、上記「取付概要図」をご参照の上、接続をおこなってください。接続完了後、再度バッテリーマイナス端子を接続します。
- 5 リモコンでドアがロック / アンロックされることを確認して取り付け終了です。

TYPE-C 取付方法

集中ドアロック車でドアロックスイッチ(ドアロックリレー)から純正ドアロックモーター間の配線を加工して配線する方法

取付概要図



注意

- 使用しない線は必ずビニールテープなどで、線の先端部分をテーピングしてください。
- オスギボシ
- メスギボシ

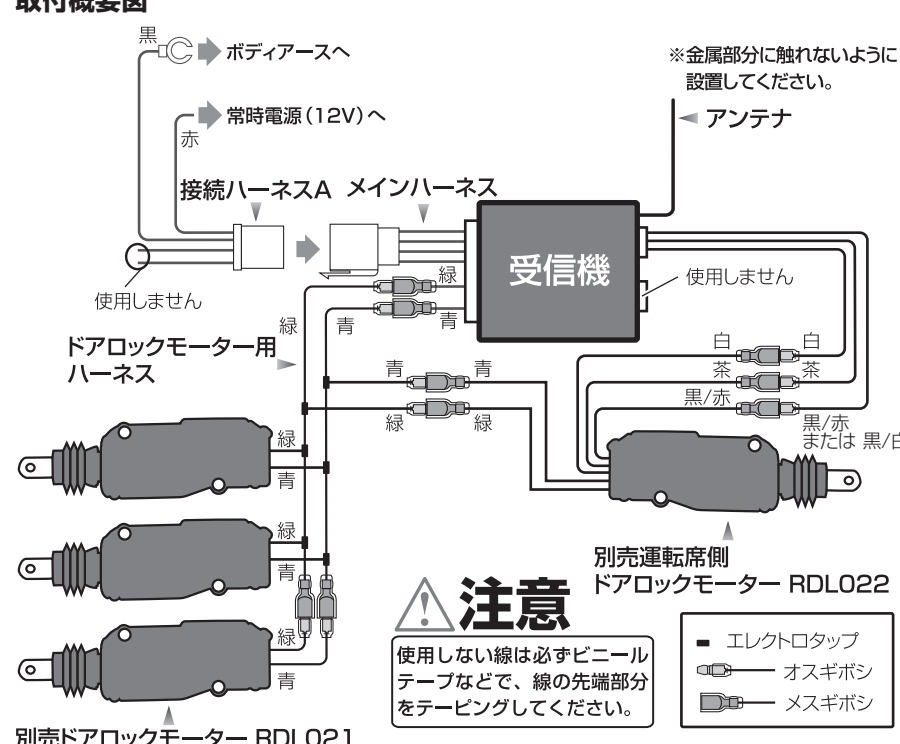
- 1 上記「ドアロックリレーを探す方法」をご参照の上、ドアロックリレーを探します。
- 2 ドアロックリレーから出ている配線の中で通常時0V、集中ドアロックスイッチまたは運転席側ドアノブでロック操作したときに0Vから約12Vに変化する線をロック線とします。
※ロック線はドアロックリレー以外に集中ドアロックスイッチから出ている場合もあります。
- 3 ドアロックリレーから出ている配線の中で通常時0V、集中ドアロックスイッチまたは運転席側ドアノブでアンロック操作したときに0Vから約12Vに変化する線をアンロック線とします。
※アンロック線はドアロックリレー以外に集中ドアロックスイッチから出ている場合もあります。
- 4 バッテリーマイナス端子を外し、上記「取付概要図」をご参照の上、接続をおこなってください。接続完了後、再度バッテリーマイナス端子を接続します。
- 5 リモコンでドアがロック / アンロックされることを確認して取り付け終了です。

TYPE-D 取付方法

(ドアの枚数別売ドアロックモーターが必要です)

全てのドアにドアロックモーターを装着する方法

取付概要図



注意

- 使用しない線は必ずビニールテープなどで、線の先端部分をテーピングしてください。
- エレクトロタップ
- オスギボシ
- メスギボシ

- 1 バッテリーマイナス端子を外します。
- 2 上記「取付概要図」をご参照の上、接続をおこなってください。
- 3 バッテリーマイナス端子を接続します。
- 4 リモコンでドアがロック / アンロックされることを確認して取り付け終了です。
※ RDL022 (5本配線タイプ) は付属の延長コードを使用してそれぞれ接続します。
※ RDL021 (2本配線タイプ) を接続する場合、別途延長配線・エレクトロタップなどが必要になる場合があります。
※後部座席などにドアロックモーターを取り付ける場合も同様に接続してください。

受信機取り付け時の注意

取り付け作業終了後、バッテリーマイナス端子接続時にドアがロックされる場合がありますので、取り付け作業中は窓ガラスを全開にしてください。